

平成 25 年 7 月 25 日
生涯学習・文化財課

水上勉「越前竹人形」草稿の取得について

1 入手資料

- (1) 資料名 『越前竹人形』草稿 400字詰原稿用紙 29枚
- (2) 内 容 全集収録の2編(小説、戯曲)と異なる表現が用いられ、語り口調の文章と科白で書かれており、全19章から構成される小説の1章から6章と内容が重複する。関係者によれば、人形語りの草稿と思われるとのこと。
- (3) 来 歴 水上氏本人による校正は見られるものの、編集者など第三者の推敲の跡はないため、掲載に至らなかった作品の可能性が高く、出版関係者や作家関係者が所有していたものと思われる。

2 水上勉関連資料の収蔵状況

(1) 県立図書館

自筆原稿10点、色紙7点、書3点、画3点

(2) 若州一滴文庫

自筆原稿5点、美術作品515点、水上露子氏寄贈書22、182冊、原稿レプリカ17点

(3) 県外の総合文学館

日本近代文学館 76点

自筆原稿44点(「雁の寺」、選評36点など)、書簡31点、自筆文書1点
神奈川近代文学館 52点

自筆原稿17点、書簡33点、書1点、芳名帳1点

※このほか、青森や熊本等の文学館が1～2点所有